

# 火災について



## 119 消防署より

■お問い合わせ

下川消防署 ☎・☆4-2119

令和3年（1～12月）における全国で発生した火災件数は35,077件であり、おおよそ1日あたり96件、15分ごとに1件の火災が発生したことになります。

また、出火原因として多いのは、たばこ、たき火、コンロの順でどれも一人一人が注意をすれば防ぐことができますので、火災にならないように心がけましょう。

さて、これからの時期になると花火をする機会があると思いますので、花火による事故を防止するための注意事項をしっかりと守りましょう。注意事項の他、大人が子供たちに対して火災の恐ろしさや正しい火の取り扱い方を教える必要があります。

花火で遊ぶ際に子供たちと火災の恐ろしさや火の取り扱いについて話し合ってみてはいかがでしょうか。

令和4年の状況（6月末現在）

救急出動件数 65件

火災件数 2件



## 電気火災には注意しましょう!

今では日々の暮らしには欠かせない電気製品で部屋を見渡せば、囲まれているのではないのでしょうか。しかし、その便利な電気製品にもちょっとした使用者の不注意で火災になった例は少なくありません。そんな火災を少しでも減らすために、十分に注意しましょう。

火災の原因で「トラッキング現象」という言葉を耳にしたことはありませんか？

コンセントのプラグに溜まったホコリに湿気などの水分が付着し、電気が流れて、ショートして炎が発生するという現象です。また、家具などでコードを踏みつけていて断線しているとそこから発火することもあります。このように電気製品の電源がOFFであってもコンセントにプラグが挿さっているだけで発生する可能性がありますので、次のとおり注意し取り扱しましょう。



### トラッキング現象による火災の防止策

1. 使用していない電気製品は出来るだけプラグをコンセントから抜き、定期的に掃除をする。
2. 冷蔵庫やテレビなど差しっぱなしのプラグは時々点検してホコリをふき取る。
3. トラッキング防止加工されたプラグカバーを使用するなどの対策も考慮する。